

「関西生コン」労働運動とは何か — 資本・権力は何を恐れて弾圧するのか —

いま、「連帯ユニオン関西地区生コン支部」という労働組合とその事業関係者に対し、常軌を逸した組合つぶしが行われています。この弾圧は、大資本の意を受けた警察、司法、一部マスメディアが総動員された、共謀罪を先取りした国策弾圧です。労組のストライキなど正当な活動が「威力業務妨害」「恐喝」等とでっち上げられ、すでにこの1年半で、89名にもものぼる組合員や関係者が不当に逮捕され、委員長らは何重もの罪をきせられ長期勾留されました。

なぜ、コンクリートを運ぶミキサー車の運転手たちから始まった労働運動を、それも関西という限定された地域の運動を、ここまでつぶしにかかるとのでしょうか。その背景には、関西生コンの労働者たちが築き上げた仕組みや、その闘いが広がることを恐れる大手ゼネコンや大企業の存在があります。資本、権力は関西生コン労働者の闘いの何に怯え、恐怖し、労組を丸ごと潰してしまおうとするのでしょうか。そこを問うことで、この労働運動のもつ階級的な性格と本質、日本の労働運動の階級的再生の課題が明らかになります。

この講座では、『関西生コン50年史』をもとに、この闘いがいかなるものかを学びます。さらに、この闘いを教訓に、私たちの職場、生活、業界において根本からシステムを変える展望を見出したいと思います。労組関係者はもちろんのこと、働いているけど労組に加入していない方、学生やこれから働く予定の方々の参加も歓迎です。

基本第3水曜開催

時間 19:00～20:30

講師の都合により変更になる場合があります。

HP、Twitterなどもご確認ください。

初回 4/20（月）※初回は月曜、関西生コンの執行委員の方が特別講師です。

第2回 5/20（水）

第3回 6/17（水）

第4回 7/15（水）

第5回 9/16（水）

第6回 10/21（水）

第7回 11/18（水）

第8回 12/16（水）

第9回 2021/1/20（水）

第10回 2021/2/17（水）

第11回 2021/3/17（水）

※8月は夏休み



講師

生田あい（『関西生コン50年史』編纂委員）他
本講座では、関西生コンからも講師をお招きし、自分たちの仕事や生活の中で何ができるかをともに考えたいと思います。